

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科(視能訓練士学科1年制進学コース)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	視能学演習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年	学期及び曜時限	前期	教室名	7F実習室
担 当 教 員	高宮麻也子他(視能訓練士学科1年制教員)				
実務経験と その関連資格	<p>【実務経験】 視能訓練士として総合病院、クリニックに勤務。光学的屈折矯正検査に従事。</p> <p>【関連資格】 視能訓練士</p>				
《授業科目における学習内容》					
<p>①屈折検査が理論に基づいて行える。 ②両眼視を理解し、検査が行える。 ③検査レポートが書ける。</p>					
《成績評価の方法と基準》					
レポート30%、本試験70%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
レジュメ 生理光学ドリル基礎編 滋慶教育科学研究所:滋慶出版,2015					
《授業外における学習方法》					
生理光学ドリルの復習。図書の蔵書等を利用した調べ学習。実習室での実習練習。					
《履修に当たっての留意点》					
事前課題のある時は必ず課題に取り組んでから受講してください。授業の中で不明な点は積極的に質問してください。					
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	1年次の復習ができる	生理光学ドリル基礎 編	1年次の復習をしておく。	
	各コマに おける 授業予定	生理光学ドリルの問題を解く。			
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	屈折検査(乱視表)の理論を理解する。	レジュメ	前回の復習をしておく。	
	各コマに おける 授業予定	フローチャートに基づいて学ぶ			
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	屈折検査(乱視表)の理論を理解する。	レジュメ	前回の復習をしておく。	
	各コマに おける 授業予定	フローチャートに基づいて学ぶ			
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	屈折検査(乱視表)の理論を理解する。	レジュメ	前回の復習をしておく。	
	各コマに おける 授業予定	フローチャートに基づいて学ぶ			
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	屈折検査(乱視表)の理論を理解する。	レジュメ	前回の復習をしておく。	
	各コマに おける 授業予定	フローチャートに基づいて学ぶ			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	乱視表を用いた屈折検査ができる。	レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	屈折検査実技実習		
第7回	授業を通じての到達目標	乱視表を用いた屈折検査ができる。	レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	屈折検査実技実習		
第8回	授業を通じての到達目標	乱視表を用いた屈折検査ができる。	レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	屈折検査実技実習		
第9回	授業を通じての到達目標	乱視表を用いた屈折検査ができる。	レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	屈折検査実技実習		
第10回	授業を通じての到達目標	乱視表を用いた屈折検査ができる。	レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	屈折検査実技実習		
第11回	授業を通じての到達目標	乱視表を用いた屈折検査ができる。	レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	屈折検査実技実習		
第12回	授業を通じての到達目標	乱視表を用いた屈折検査ができる。	レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	屈折検査実技実習		
第13回	授業を通じての到達目標	乱視表を用いた屈折検査ができる。	レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	屈折検査実技実習		
第14回	授業を通じての到達目標	乱視表を用いた屈折検査ができる。	レジュメ	図書室の蔵書などで眼科領域の蔵書や論文を調べてみる。
	各コマにおける授業予定	屈折検査実技実習		
第15回	授業を通じての到達目標	乱視表を用いた屈折検査ができる。	レジュメ	図書室の蔵書などで眼科領域の蔵書や論文を調べてみる。
	各コマにおける授業予定	屈折検査実技実習		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科(視能訓練士学科1年制進学コース)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習	
科 目 名	視能学演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60	(4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	前期	教室名	7F実習室	
担 当 教 員	高宮麻也子他(視能訓練士学科1年制教員)	実務経験と その関連資格					
《授業科目における学習内容》							
①屈折検査が理論に基づいて行える。 ②両眼視を理解し、検査が行える。 ③検査レポートが書ける。							
《成績評価の方法と基準》							
レポート30%、本試験70%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
レジュメ 生理光学ドリル基礎編 滋慶教育科学研究所:滋慶出版,2015							
《授業外における学習方法》							
生理光学ドリルの復習。図書の蔵書等を利用した調べ学習。実習室での実習練習。							
《履修に当たっての留意点》							
事前課題のある時は必ず課題に取り組んでから受講してください。授業の中で不明な点は積極的に質問してください。							
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	両眼視について概要を理解する。		レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。		
	各コマに おける 授業予定	斜視について学ぶ。					
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	両眼視について概要を理解する。		レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。		
	各コマに おける 授業予定	斜視について学ぶ。					
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	両眼視について概要を理解する。		レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。		
	各コマに おける 授業予定	斜視について学ぶ。					
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	両眼視について概要を理解する。		レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。		
	各コマに おける 授業予定	斜視について学ぶ。					
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	両眼視について概要を理解する。		レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。		
	各コマに おける 授業予定	斜視について学ぶ。					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標	斜視の検査を行い、検査結果を正しく書ける。	レジュメ	前期の解剖の復習をしておく。
	各コマにおける授業予定	斜視検査実習		
第22回	授業を通じての到達目標	斜視の検査を行い、検査結果を正しく書ける。	レジュメ	前期の解剖の復習をしておく。
	各コマにおける授業予定	斜視検査実習		
第23回	授業を通じての到達目標	斜視の検査を行い、検査結果を正しく書ける。	レジュメ	前期の解剖の復習をしておく。
	各コマにおける授業予定	斜視検査実習		
第24回	授業を通じての到達目標	斜視の検査を行い、検査結果を正しく書ける。	レジュメ	前期の解剖の復習をしておく。
	各コマにおける授業予定	斜視検査実習		
第25回	授業を通じての到達目標	斜視の検査を行い、検査結果を正しく書ける。	レジュメ	前期の解剖の復習をしておく。
	各コマにおける授業予定	斜視検査実習		
第26回	授業を通じての到達目標	斜視の検査を行い、検査結果を正しく書ける。	レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	斜視検査実習		
第27回	授業を通じての到達目標	斜視の検査を行い、検査結果を正しく書ける。	レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	斜視検査実習		
第28回	授業を通じての到達目標	斜視の検査を行い、検査結果を正しく書ける。	レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	斜視検査実習		
第29回	授業を通じての到達目標	斜視の検査を行い、検査結果を正しく書ける。	レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	斜視検査実習		
第30回	授業を通じての到達目標	斜視の検査を行い、検査結果を正しく書ける。	レジュメ	授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。
	各コマにおける授業予定	斜視検査実習		